

理 研 会 報

行 務 局
印 教 研 理 科 部 局
事 務 局 成 田 市 成 田
成 田 小 学 校 内
9 5 0

秋の夜空に

研究部長 板橋義夫

又美しい夜空の星が眺められる季節となって参りました。それよりは地球の灯も一段と美しい季節かも知れませんが、この頃のように宇宙開発が進み月などの実態が段々明らかになると詩的な感情が遠のいて、ブームのついで月の岩石採集にでもと思わぬ人もないでもないかも知れません。

それにしてはまだまだ何千何万年、更にその彼方には神秘な世界が存在することは事実です。然しこれからは急速に解明されていくことでしょう。新しい時代の子供には、新しい目の向け方は言うまでもありません。然しその前に私達はもう一度新しい感覚で秋の夜空を眺めてみようではありませんか。

第二の太陽系が、第三の世界が、気の遠くなるような遠い星雲の彼方から、皆さんの心をそっととらえていくかも知れません。しげしげと浮世のいざこざを忘れて秋の夜空を楽しんでください。

理科研究部にのぞむ

印 藤 出 張 所 指 導 室

鈴木 清

指導要領の改訂を前に、日頃実践の面、理論面で研究されて

的で充実した運営、協力が予期以上の成果を収め、現場実践に直結している点心から敬意を表し、今後益々諸先生方の御研修をお願いいたします。

印教研研究集会

行 わ る

第十六次教育研究集会は九月三十日成田小学校を会場にして行なわれましたが、第五分科会（理科教育）に参加されました先生方にご意見を寄せて戴きました。

意義ある集会

六 合 小 飯 塚 富 子

ふだんわたくしの気づかなかつたことや、なやんでいたことを講師先生の明解なご指導と、会員先生方の質問、応答などから知り、そして考えさせられた有意義な一日でした。

迫力のある提案者の発表も、大へん参考になりました。あんなにひきつけられ、そして豊富な資料を最高に表現する発表のしかたは、と考えました。

○内容のまとまりと順序だて
○声の明瞭さ、大きさ
○話し方の間のおき方
などではなかつたかしら、と思いました。

現場に生かせる

研究を

四 街 道 中 央 小
石 井 幸 雄

初めて教研集会に参加したの、その感想をあらさまに述べてみたい。

まず、分科会での研究討議の目的は何か、はっきりわからなかった。これは、もちろん、私の不勉強によるのだから、問題点の提示なのか。研究方法の検討か。参加した会員の頭には、はたして、何が残ったのだろうか。明日からの実践を支える原動力となるエネルギーが貯えられたのだろうか。

次に、研究のあり方を考えてみたい。

教育を科学的なものにしていくためには、しっかりとした研究体制が必要であろう。そして、もっと研究の積み重ねを大事にしていくべきであろう。ともかく、せまかくの研究をもっと現場に生かせるようにしたいと強く感じた。

研究集会を更に

酒 々 井 中 中 橋 敏 夫

私はこの春、教師になつたばかりで教研集会の本来あるべき姿と言ふものは、全くわかりませんが、三三感じたことを述べたいと思います。

卒直に言いますと、まず第一に先日の研修会では本場にテーマについて深くつきつめて意見の交換がなされなかつたように思いました。

第二に先日の研修会では小中学校の先生方が一緒に集まられたいわゆる「たわも」の集まりと生かして欲しいか、たと思います。最後に時間の割にはテーマ数が多すぎたと思いました。それで今後の研修会に希望す

ることは、まず前もってテーマを知らせて欲しいと言ふこと、第二にテーマの数を第一分野関係のもの一題、第二分野関係のもの一題の二つくらいにし、かつ同一テーマで小中学校の先生方が討議資料を作成するようにしたら良いのではないかと思います。

以上、教師一年生が生意気にも感想及び希望を書き並べましたが、この私の意見が今後の研修会に少しでもプラスになればと思っております。最後に先日の研修会では私は自分なりに非常に得るところが大でありました。ここで関係者御一同に感謝の意を表すとともに今後も大いに参加させていただきたいと思

科学メモ

山 羊 は な ぜ 紙 を た べ る で し ょ う

成 田 中 森

紙は植物せんいですので、セルロースで出来ています。即ち炭水化物（デンプンや糖の仲間）です。しかし三大栄養素のうち脂肪やタンパク質は含んでいません。山羊はそれらがなくとも生きていけるのでしょうか。そうはいきません。

セルロースも哺乳動物の消化液では消化されませんが草食動物では前胃や腸に単細胞動物を共棲させて、そのバクテリアがセルロースを分解してくれま

風 信

科学的思考力を伸ばすために観察、実験をどのように指導したらよいか、というテーマを中心とした研究を続けて二年間、その成果を発表する朝陽小学校の公開研究会は来る十一月二日行なわれます。

展開される授業は
一年生 くだもの
二年生 シャボン玉
三年生 しよくえんとぼうりさ
四年生 でんぶん
五年生 ねん料とほのお
六年生 金属の性質と利用

私たちの共同研修の場としておおいに活用させて戴こうではありませんか。

◎成中理科センター講座は既報のように十月二十六、七の両日学習指導の場も展開されて行われます。

◎県教研集会は十一月十二、十三日大貫小で行われますが理科分科会への正会員は次の方が決定されます。ご活躍を！

鈴木 恭子（印西中）
三村賢治郎（佐倉中）
並木 辰次（笹引小）
川勝 丸重（佐倉小）

編 集 後 記

○九月号は教研を中心にとりましたので「学校団」「理科施設」は休みます。
○次号は理科展を中心に。